

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。

（メール）tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労

おとうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる（〒60円）

3・17東京埼玉トラック部会首都圏トラックパレード開催

3月17日（日）建交労東京ト

ラック部会・埼玉トラック部会は、首都圏トラックパレード（葛西トラックターミナル～港区浜離宮庭園まで）を開催しました。当日は、好天に恵まれ4月下旬並の気温の中、トラック22台・宣伝車4台・乗用車6台、全台数32台、参加者は述べ80名（集会50名・沿道激励30名）が集まりました。葛西トラックターミナルでは朝8時から各車両にデコレーション作業を行い「春闘勝利！なくそう格差と貧困！」「送料無料反対！」「適正運賃収受で経営改善を！」など私達の切実な要求が書かれた横幕でトラックを装飾しました。



出発式開催(葛西トラックターミナル)

出発前の決起集会は、東京トラッ

ク部会矢島部会長（豊島運送支部の主催者挨拶から始まり、来賓の首都圏労使協成瀬会長（教宣文化社代表取締役社長）、東京地評屋代事務局長、中央交運共闘会議林事務局長、中央本部角田執行委員長、都本部石塚副委員長から激励の挨拶を頂き、国内全体の物価高騰による生活困窮や、4月の改善基準告示一部改正を目前に控えたトラック運輸業界が抱える問題、人手不足問題などについて話がありました。その後、埼玉トラック部会鈴木洋平部会長の決意表明と、前山事務局長（埼玉）によるスローガン確認と細川副部会長（埼玉）



24国民春闘勝利！トラック業界の社会的地位向上をめざして！

の閉会挨拶・団結ガンバローで決

起集会は終了し、その後10時から4つの梯団に分かれパレードに出発しました。パレード中は、各車両よりトラックドライバーの現状や、24春闘への熱い思いなど、沿道に向けてアピールしました。「私達は、国民生活や経済活動に重要な役割を、物流や旅客輸送の現場で果たしている自動車運転手です。私達の賃金や労働条件は悪化の一途を辿り、その事が重大な事故に結び付いています。運転手の過労死認定数は、依然として高水準で推移し続けています。私達は国や国交省に法整備や法改正を求めています。ドラ



東陽町駅前

イバーの成り手が少ない今日、2030年には輸送能力が34%以上不足する事

が予想されています。このまま人手不足が続けば、予定通りに荷物が届かなくなる、新鮮なものが手に入らなくなるなど、国民生活への大きな影響が懸念されます。送料無料のキャンペーンの影で、低賃金・長時間労働を強いられるドライバーがいる事を知って下さい。荷主の皆さんには適正な運賃の収受を求めます。」と訴えました。

パレード途中、東陽町駅前と門前仲町沿道にて建交労東京都本部や東京地評の仲間が横断幕と旗を大きく振り、激励をして頂きました。沿道応援して頂いた皆様、ありがとうございました。約2時間にわたって沿道の方々に私達の現状を発信しながら行なった。パレードは、銀座を経由し浜離宮庭園まで到着し、無事終了しました。



大幅賃上げと処遇改善で生活といのちを守ろう！

【東京トラック部会

事務局長 上村 誠】



門前仲町永代二丁目交差点



魅力あるトラック産業を！



浜離宮庭園付近

東京トラック部会 新木場駅前・東陽町駅前宣伝 全国トラック部会統一行動

4月5日(金)、東京トラック部会は全国トラック部会統一行動としてJR新木場駅前と東京メトロ東西線東陽町駅前で宣伝行動を開催し9名(神田支部3名・豊島運送支部2名・バス関連支部(京王新労組)2名・井住運送東京分会1名、東京都本部1名)が参加しました。小雨がぱらつく寒空の中、午前8時に新木場駅前に集まり、物流センターに向かう人々宣伝ヒラ・ティツ



新木場駅前

シユ・ノベルティグッズを配布しました。参加した仲間は交互にマイクを握り「ドライバーの低賃金・長時間労働を改善しなければ24年問題や人手不足は解消出来ない。私達はトラックの産業別最低賃金(特定最賃)を全国一律で制定する事を求めている。また、働き方関連法における時間外労働の上限は年間720時間だが、自動車運転者の『改善基準告示』では年間960時まで残業させる事が可能となっている。告示を一般則同様の基準に改定しなければ長時間労働は改善しない。」等と訴えました。足を止めてビラを受

【東京トラック部会
事務局長 上村 誠】

持続可能な社会の実現を 建築設計支部いしずえ分会 金田正夫建築士ワークシヨップ

2022年5月に開催された竹小舞士壁塗り体験から約2年、建築設計支部いしずえ分会の仲間、金田正夫建築士が手掛ける住宅が竣工し、ワークシヨップが企画されました。東京建設・関連部会をはじめ、中央本部や東部支部などの仲間が参加しました。床暖房が施された無垢の床板には南に大きく開いた窓から日差しが注ぎ、2月とは思えない暖かさです。木の梁・柱や漆喰の壁に、家主体が呼吸しているような心地よさを感じ



解説をする金田正夫建築士

ます。持続可能な建設業界の在り方を目指し、エアコンや断熱材になるべく頼らず、省資源で、冬暖かく夏涼しい住環境を目指す金田さんの理念を感じる作品でした。



奥行1.5mの軒は夏の直射日光を防ぎ冬の日差しを取り入れます

丸善共催「春夏秋冬のある暮らし」講座が4月にリニューアルし、開催されます。連絡先:金田正夫 mukuri@d.yahoo.co.jp 【笹原和樹】

組合活動をもっと楽しく

建交労東京青年部第23回定期総会開催

3月28日(木) 建交労東京青年部は、第23回青年部総会を開催しました。開会挨拶をした秋山部長は「世界各地で戦争が起きている。平和でなくては働く事も出来ないという立場で労働組合の青年部が反核の運動を取り組むことは重要。」と述べました。来賓として参加された東京地評青年協幹島歩常任幹事は「労働者

の組合加盟率は16%に留まり、組合を日常的に目にする機会が少ない。東京青年協では東京ジャックと題して11月に原宿駅で宣伝とシールアンケートを実施した。時給1500円以上にして欲しいという回答が圧倒的。物価高騰を上回る賃上げを青年からも訴えていきたい。」と挨拶されました。各職場の状況をはじめ、組合活動に対する疑問や悩み等、青年ならではの率直な感想に共感しながら1年間の総括と方針を採択しました。部長に関東支部の石川陽一

組合掲示板

- 5月1日(水) 第95回中央メーデー 10時~ / 代々木公園 第95回三多摩メーデー 12時半~ / 井の頭公園西園
- 5月3日(金・祝) 憲法集会 12時半~ / 有明防災公園(有明駅、国際展示場駅)
- 5月6日(月・祝) 平和行進 12時~ / 東京夢の島公園 第五福竜丸展示館前
- 5月7日(火) 平和行進 9時~ / 港区立芝公園(芝公園駅)

が就任し、長年部長を勤めた鉄道東京の秋山さんは副部長として留任しています。新たな門出を迎える仲間を東京青年部一同心から応援しています。 【執行委員 笹原和樹】

最賃ビッグアクション 三多摩 労連 立川駅前八王子駅前

全労連・国民春闘共闘は4月10日(水)春闘の一環として「全国最賃一律1500円の声を職場や地域から上げよう」と呼びかける「最賃ビッグアクション」を全国各地で一斉に開催しました。

この取り組みは「労働組合が全ての労働者の労働条件を改善する役割を担っている」という任務のもと呼びかけられ、建交労をはじめ各単産・地域労組が結集しています。バス関連支部(京王新労組)は、三多摩労連と東京地評が主催した立川駅、八王子駅での行動に参加しました。立川駅では、連合



立川駅前で「最賃1500円の実現!」を訴えました

加盟の自治労と宣伝の時間が重なりましたが、ナショナルセンターの垣根を越え、共にエール交わしながら5分毎に交代で宣伝を行いました。「政府がすべきことは最低賃金引き上げである。非正規で不安定な低賃金での雇用を作り上



バス関連支部(京王新労組)佐々木仁執行委員長

げてきた責任は大きい。働く誰もが生活できるような最低賃金は必ず全国一律1500円にすべき。職場や地域から声を上げよう」と各単産や地域労組から訴えました。 【バス関連支部(京王新労組) 執行委員長 佐々木 仁】